

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号	0011		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質工学専攻		対象学年	専1		
開設期	前期		週時間数	前期:4		
教科書/教材	「日本のことを1分間英語で話してみる（カラー改訂版）」広瀬直子著（KADOKAWA）、「クイズで攻略！TOEICテストボキャブラリー（南雲堂）」					
担当教員	池田 晶					
到達目標						
既習の語彙と文法事項を復習しながら、英語プレゼンテーションにおいて必要な英語力の向上につなげる。 （１）プレゼンテーションの基本的な意義を理解し、アウトラインが書ける。 （２）パワーポイントを使って、簡単なプレゼンテーションが出来る。 （３）効果的で印象的なプレゼンテーションを行うために必要な英語表現を習得する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安		
評価項目1	プレゼンの基本的な意義を理解し、幅広い内容でまとまりのあるアウトラインが書ける。	プレゼンの基本的な意義を理解し、簡単にまとまりのあるアウトラインが書ける	プレゼンの基本的な意義を理解し、断片的ではあるが趣旨の分かる簡単なアウトラインが書ける。	プレゼンの基本的な意義を理解できず、アウトラインが書けない。		
評価項目2	パワーポイントを使って、10分程度の簡単なプレゼンが出来る。	パワーポイントを使って、7分程度の簡単なプレゼンが出来る。	パワーポイントを使って、5分程度の短く簡単なプレゼンが出来る。	パワーポイントを使って、簡単なプレゼンが出来ない。		
評価項目3	英語プレゼンで必要な表現を多様な文の中で活用し、さまざまな文を表現することができる。	英語プレゼンで必要な表現を、適切な語句とともに文の中で活用することができる。	英語プレゼンで必要な表現を発音し、書くことができる。	英語プレゼンで必要な表現を発音し、書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	第1学期開講 本授業では、英語によるコミュニケーション能力を伸ばすための演習となります。コミュニケーション、つまり「言葉などを用いて自分と相手との間で情報のやりとりをする」ということとなりますが、多くの場合「会話」を連想するかもしれませんが、この他には「プレゼンテーション」が挙げられると思います。プレゼンテーションの技術は、これから皆さんが研究発表をする際や、社内会議などの際に必要となってくるものです。昨年度までに学んだ英語によるコミュニケーション能力の基礎である発音、文法、会話主題把握・展開力を応用させながら、少しずつ英語プレゼンについて学んでいきます。また、ビジネスの場を意識した英語表現を身につけるために、TOEICを意識した内容も学びます。					
授業の進め方・方法	※ この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポートやオンラインテストを実施します。 【授業態度について】 「教材を持ってこない」、「私語をする」、「携帯電話を使用する」、「居眠りをする」、「飲食する」、「出席したとしても全く授業に参加しない」、といった態度や、配布したプリント類を紛失した場合は、自分だけではなく、周りの学生に悪影響を及ぼすので、大幅な減点対象とします。本の辞書でも電子辞書でも構いませんので、辞書は必ず持参してください。 【勉強の仕方について】 予習と復習にはじっくりと取り組んでください。予習の段階で英文に目を通して分らない単語や難しそうな英文に見当をつけておいて授業で確認する、という方法を身につけると効率が良いと思います。外国語の学習は自分から学ぶ、という姿勢を身につけることが大切ですので、分からないことがあったら、授業中でも授業以外でも、気軽に質問してください。					
注意点	海外研修やインターンシップをする学生が増えています。そこで、英語でプレゼンをしたり、日本のことを紹介する場面があると思います。しかし、いざ日本のことを紹介するとき、日本のことが自分にとってはあまりに身近すぎて意識をしてこなかったために、相手にうまく説明できない場面に遭遇することがあると思います。そこで、この授業では「英語でプレゼンをする」ということを目標にしつつも、海外研修やインターンのときの「日本ネタ」を英語で身に付けることも目指します。外国語という新しい視点で日本のことを説明することにより、より日本のことが分かってくると思います。一つ一つ確実に学んで積み重ねていき、自信に繋げていってください。最後に、英語の授業は「グローバル化」ということと関連付けられることが多いですが、英語だけを大切にすることはなく、英語以外にも世界には数え切れないほどの言葉があって、それぞれとても魅力的でかけがえのないものである、ということも忘れないでください。英語の勉強を通して、自分なりにグローバル化とは何か、ということについて考えてみてください。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	授業の概要を把握する		
		2週	第1章：日本ようこそ！（１）	日本の地理、歴史、言語を英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		
		3週	第1章：日本ようこそ！（２）	日本の地理、歴史、言語を英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		
		4週	第2章：自宅に招待しよう。（１）	日本の家屋、生活文化を英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		
		5週	第2章：自宅に招待しよう。（２）	日本の家屋、生活文化を英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		
		6週	第3章：旅館に泊まってみよう（１）	日本の旅行について英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		
		7週	第3章：旅館に泊まってみよう（２）	日本の旅行について英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		
		8週	第4章：関西を楽しもう（１）	関西について英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		
	2ndQ	9週	第4章：関西を楽しもう（２）	関西について英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		
		10週	第5章：日本の年中行事について話そう（１）	日本の年中行事について英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける		

		11週	第5章：日本の年中行事について話そう（2）	日本の年中行事について英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける
		12週	第6章：日本のしきたりを説明しよう（1）	日本のしきたりについて英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける
		13週	第6章：日本のしきたりを説明しよう（2）	日本のしきたりについて英語で説明する。／TOEICを意識したビジネス表現を身につける
		14週	まとめ発表	授業で扱った題材をより深めてグループ発表を行う。
		15週	期末試験	
		16週	テスト返却、授業アンケート	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	試験	発表	小テスト	復習テスト1	復習テスト2	合計
総合評価割合	30	30	10	15	15	100
基礎的能力	30	30	10	15	15	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0